

第1章 薬物等に対する意識等調査結果(概要)

I 調査方法等

1 調査目的

未成年者の喫煙及び飲酒については、近年減少傾向がみられるものの決して少ないとはいえない。また、青少年の薬物乱用については、近年の学校等における薬物乱用の有害性・危険性に関する指導の充実等をはじめとする種々の取組により、薬物は絶対に使うべきでないと考えられる児童生徒が増加し、青少年の覚せい剤事犯の検挙者数が減少傾向となるなど一定の成果を上げているものと認められる。しかし、大麻、MDMA等合成麻薬については、青少年を中心に乱用されている状況がうかがわれるなど、今後も引き続き関係機関が連携して、青少年による薬物乱用の根絶に向けた取組の一層の充実に努める必要がある。以上の状況から、学校等における喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導・教育の充実強化が求められている。

文部科学省では、未成年からの喫煙や飲酒、また薬物乱用の有害性・危険性について児童生徒が正しい知識を習得するため、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する児童生徒用教材、教職員用指導参考資料等を作成・配付するなど各種の施策を積極的に推進してきたところであるが、このような状況を踏まえ、児童生徒の薬物等に対する意識等を調査し、今後の喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する施策の参考とする。

2 調査事項

- 児童生徒の酒、たばこ、薬物に対する意識等
- 学校の薬物乱用防止に関する指導実施状況

3 調査実施方法

(1) 調査対象校の抽出

「平成22年国勢調査」における人口統計結果に基づき以下の市町村（東京23区を含む）を抽出後、「2012年度全国学校総覧」に基づき所在するすべての公立学校の内、1学年2学級以上の学校を無作為に抽出した。

- 道府県庁所在地及び人口30万人以上の市（東京23区を含む）ごとに小・中・高等学校各2校
- 人口3万人から4万人程度の市町村に所在する小・中・高等学校を都道府県ごとに各2校

以上の手続きの結果、合計864校（小・中・高等学校各288校）が抽出され、調査が実施されなかった中学校1校及び高等学校1校を除く合計862校を調査対象校とした（表I-1）。

表 I -1 調査対象校の所在地・地域区分

		人口 30 万人以上の市			人口 3 万から 4 万人程度の市町村	合計
		都道府県庁所在地 (東京 23 区を含む)	都道府県庁所在地 以外の指定都市	その他		
小学校	N	118	10	66	94	288
	%	41.0	3.5	22.9	32.6	
中学校	N	117	10	66	94	287
	%	40.8	3.5	23.0	32.8	
高等学校	N	117	10	66	94	287
	%	40.8	3.5	23.0	32.8	
合計	N	352	30	198	282	862
	%	40.8	3.5	23.0	32.7	

(2) 調査対象児童生徒の抽出

調査対象校には、小学校では第 5 及び 6 学年、中学校及び高等学校では各学年それぞれ 1 学級を選定するように依頼した。

児童生徒の酒、たばこ、薬物に対する意識等調査においては、基本属性（学年・性別）が不明な場合及びすべての質問に無回答又は同じ番号が選択されていた場合は、その児童生徒のすべての質問の回答を調査対象外とした。調査対象となる児童生徒数を表 I -2 に示す。

なお、調査対象外となった児童生徒数は、合計 807 名であり、その内訳は、学年・性別共に不明が 717 名、学年不明が 42 名、性別不明が 35 名、すべての質問に無回答が 11 名、すべての回答に同じ番号を選択が 2 名であった。

表 I -2 性・校種・学年別調査対象児童生徒数

	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
男子	4,349	4,459	4,490	4,694	4,683	4,945	5,087	4,900	37,607
女子	4,264	4,261	4,195	4,479	4,425	5,414	5,194	5,111	37,343
合計	8,613	8,720	8,685	9,173	9,108	10,359	10,281	10,011	74,950

調査対象児童生徒が 1 つだけ回答する質問に対して、2 つ以上の回答がある場合は、当該質問の回答を無効とした。

なお、回答が無記入である場合は、当該質問の回答を「無回答」と分類し、無効とした。ただし、第 2 章の単純集計表において、無効回答数の内訳として表記した。

(3) 調査実施時期

平成 24 年 12 月初旬に調査対象校に調査票を送付し、平成 25 年 1 月中旬までに回答の返送を依頼した。

（４）調査実施上の留意点

児童生徒の酒、たばこ、薬物に対する意識等調査の実施に際して、調査実施前に、本調査の趣旨、回答に対する秘密が保持されていることなどについて、児童生徒に説明するように求めた。具体的には、調査実施者には、児童生徒に対して質問用紙及びあらかじめ各人に配布した封筒に名前を記入せず、記入済みの質問用紙は封筒に入れ、封をするよう説明することを求め、また調査実施中に机間巡視しないことを依頼した（第3章 p 146【薬物等に対する意識等調査実施要項】参照）。

（５）結果の表記

- 回答率(%、百分率)は、小数点以下第2位を四捨五入し、少数点以下第1位までを表記した。したがって、表記された回答率を合算する場合、実数から算出された数値と一致しない場合がある。具体的には、1つだけ回答する質問において、各回答の合計が100.0%とならない場合がある。
- 表中の「-」及び図中に数値表記がない場合は、回答者がいないことを示す。一方、「0.0 (%)」は、1人以上の回答がある場合を示す。
- 本調査は、基本的に過去3回（平成9年、平成12年、平成18年）の調査を踏襲しているが、質問及び回答について修正が加えられたものがある。したがって、質問によって直接比較ができない場合には、参考として過去の結果を記載したものがある。
- 図表中の表記は、一部省略されている場合がある。例えば、小学校1年生は、「小1」と略した。

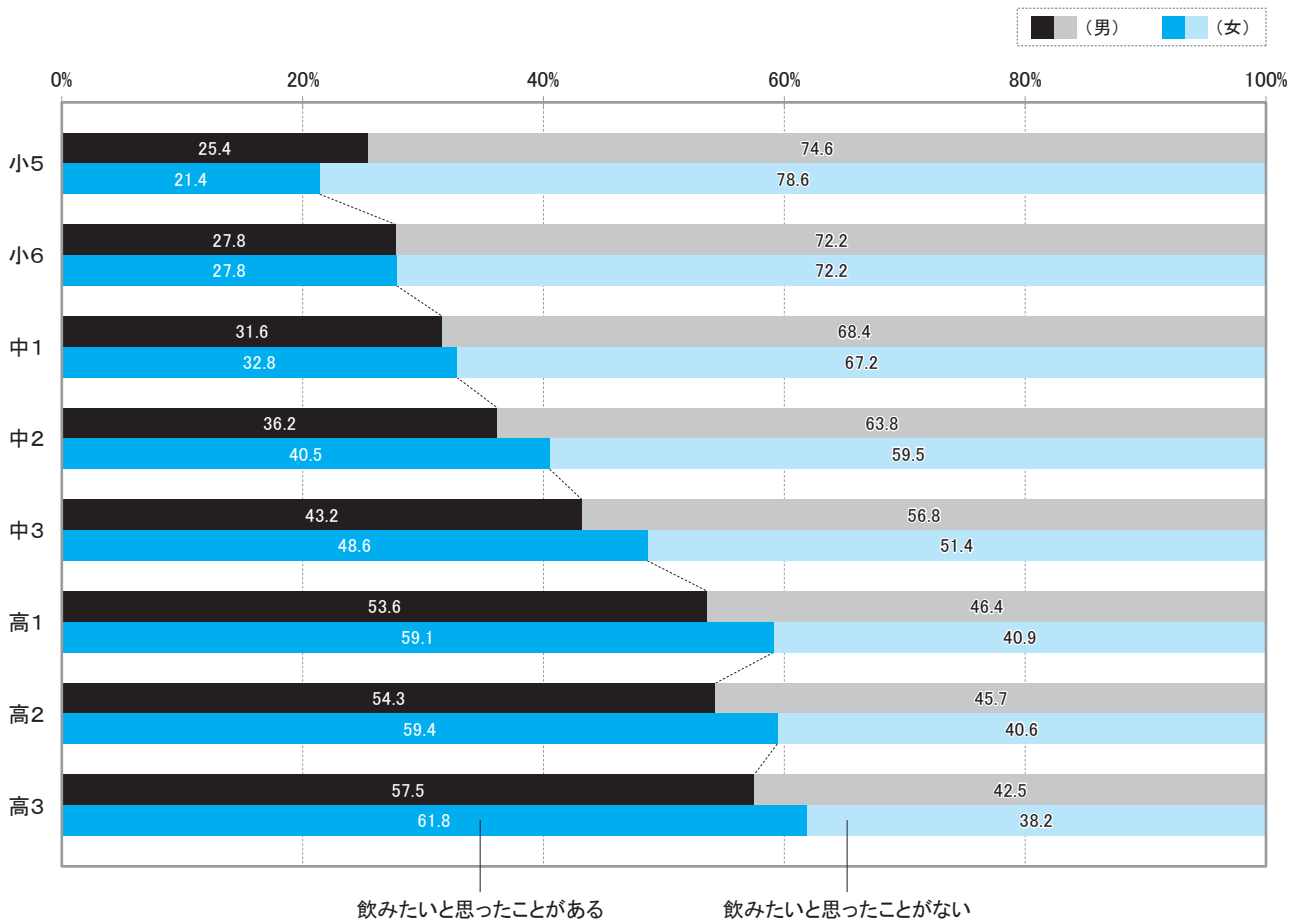
Ⅱ 酒、たばこ、薬物に対する意識等調査結果

1 酒についての質問

(1) 飲酒への関心

- 酒を「飲みたいと思ったことがある」と回答した児童生徒の割合は、男女ともに学校種・学年が上がるにつれて高くなり、高等学校1年生以上で50%を超えていた。
- 男女間で比較すると「飲みたいと思ったことがある」と回答した児童生徒の割合は、小学校5年生では男子の方が高かったが、小学校6年生で等しくなり、中学校1年生以降では女子の方が高かった。

図Ⅱ-1-(1) 飲酒への関心



【参考】

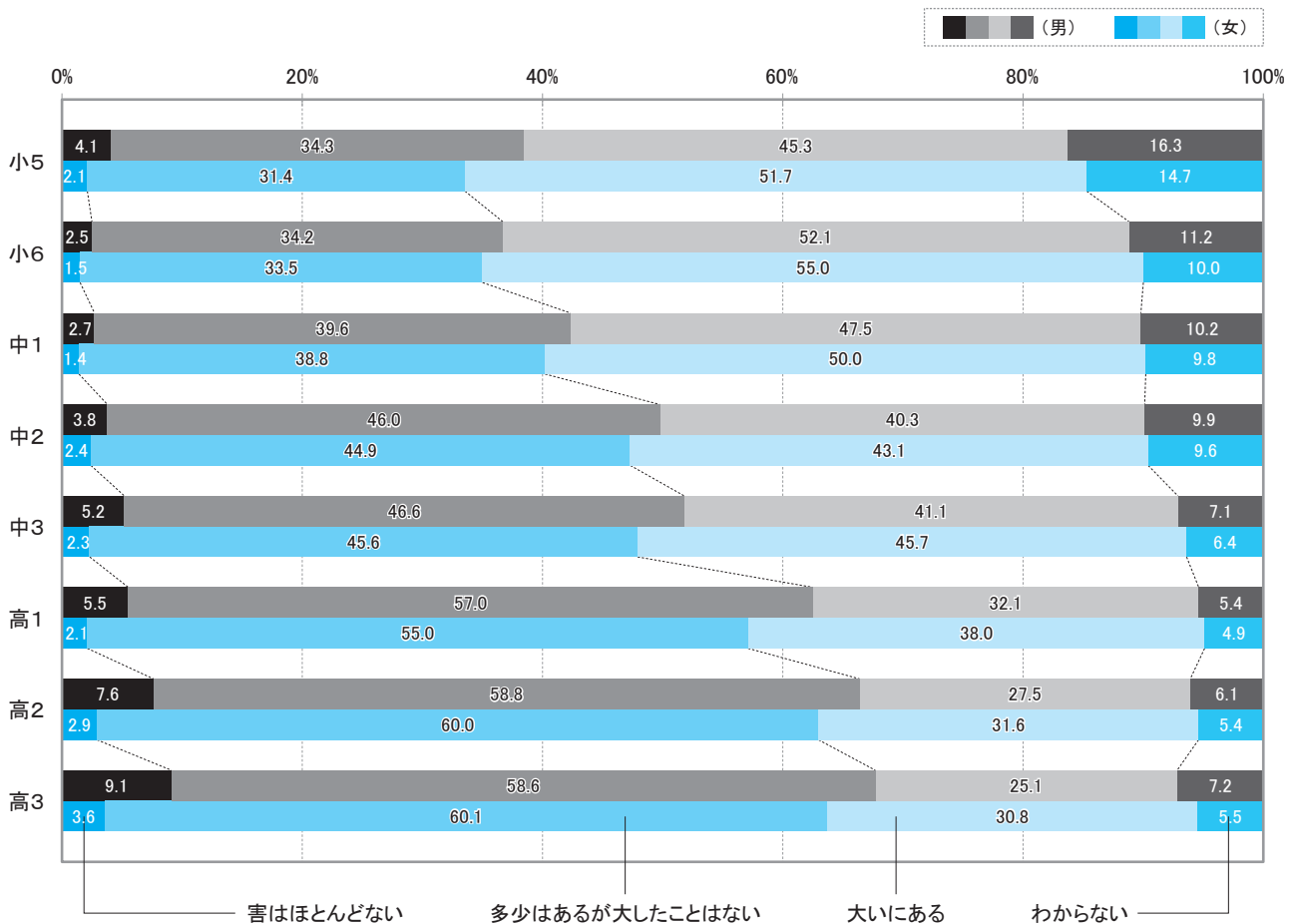
- 平成12年及び平成18年に実施した調査では、回答に酒を「飲みたいと思ったことがある」、「飲みたいと思ったことはない」以外に「考えたことがない」が選択肢として挙げられており、今回の調査結果と単純比較することに留意が必要である。過去の調査における「飲みたいと思ったことがある」と回答した児童生徒の割合を参考(第2章 p 84【参考1】参照)として示す。

- 本調査では、「飲みたいと思ったことがある」と回答した児童生徒の中には、過去の調査では「考えたことがない」と回答した児童生徒が含まれている可能性があるが、「飲酒への関心」の高い児童生徒の割合を過去の結果と比較する際には過小評価することはないと考えられる。したがって、男女ともにいずれの学校種・学年においても平成12年、平成18年から平成24年と段階的に「飲みたいと思ったことがある」と回答した児童生徒の割合が下がっていると考えられる。

(2) 飲酒の健康影響に対する認識

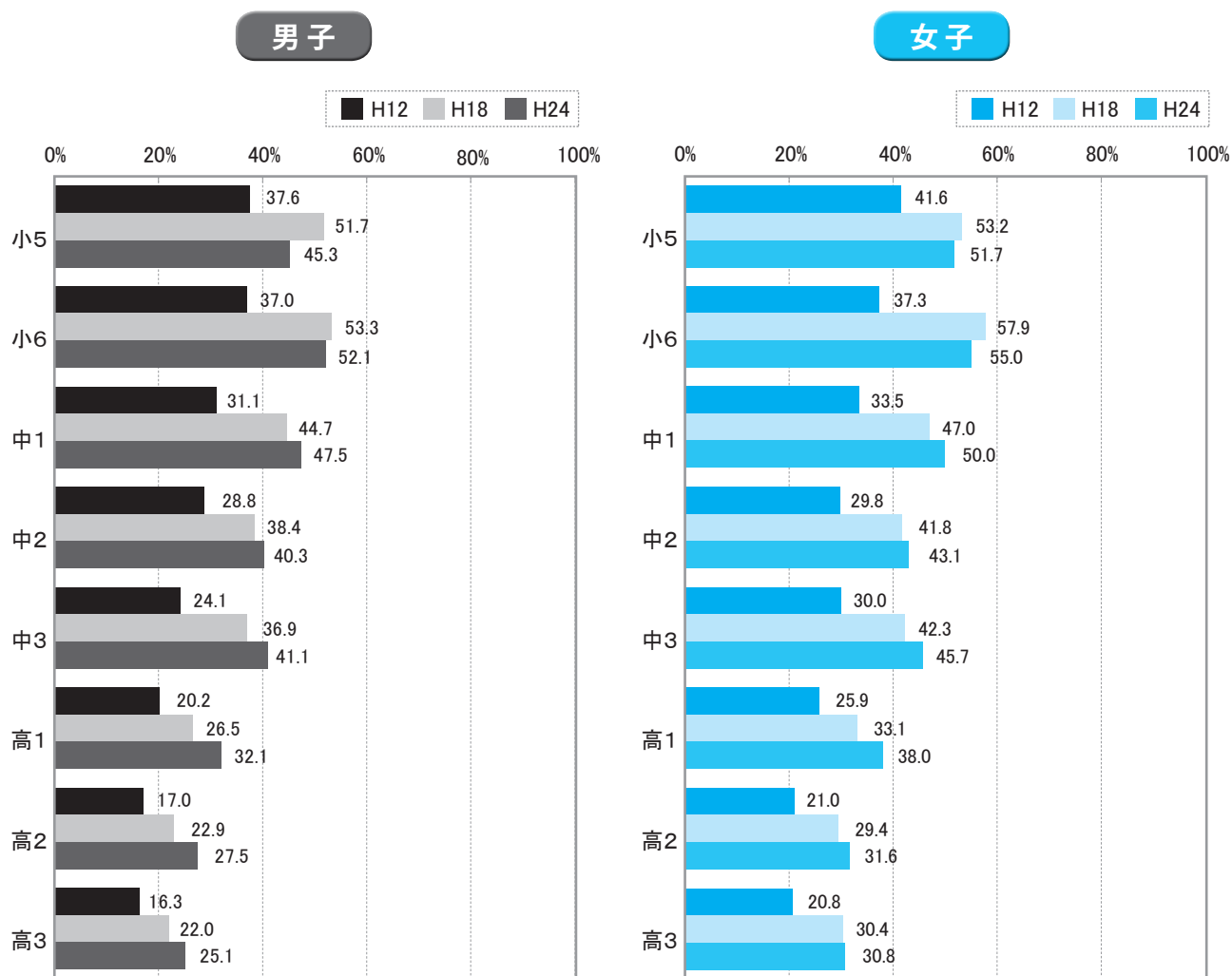
- 酒を飲むと健康に害があるかについて「大いに害がある」と思うと回答した児童生徒の割合は、学校種・学年が上がるにつれて低下し、小学校5年生と高等学校3年生で比較すると男女ともに約20ポイントの差が認められた。
- 「多少はあるだろうが大したことはない」及び「害はほとんどない」と思うと回答した児童生徒の割合の合計は、男子では中学校3年生以上で、女子では高等学校1年生以上で50%を超えていた。

図 II -1-(2)-1 飲酒の健康影響に対する認識



●酒を飲むと健康に害があるかについて「大いに害がある」と思うと回答した児童生徒の割合は、男女ともに小学校5及び6年生では平成18年の調査結果と比較して低下していたが、中学校1年生以上では高くなっていた。

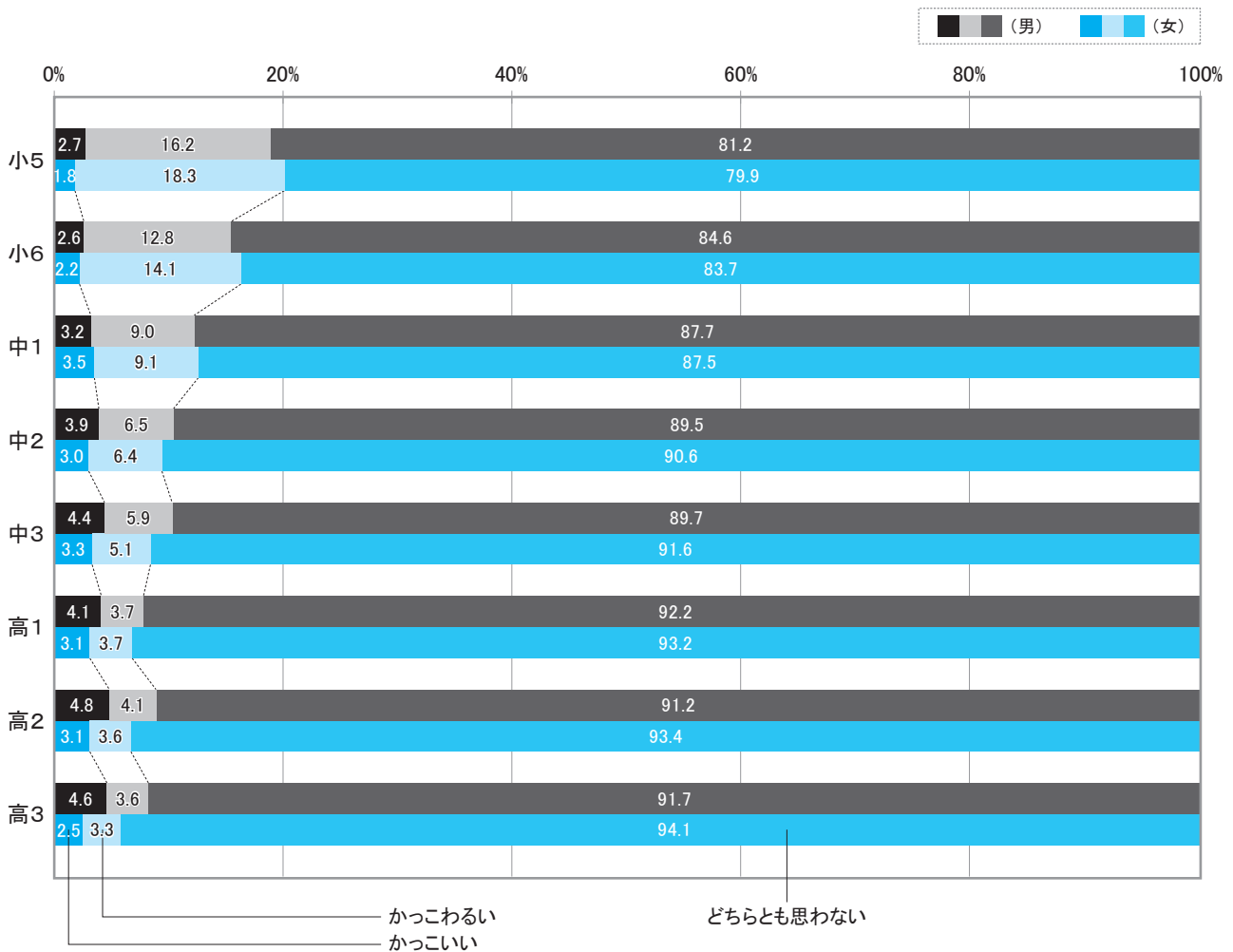
図Ⅱ-1-(2)-2 飲酒は「大いに害がある」と回答した児童生徒の割合



（3）酒を飲む人の印象

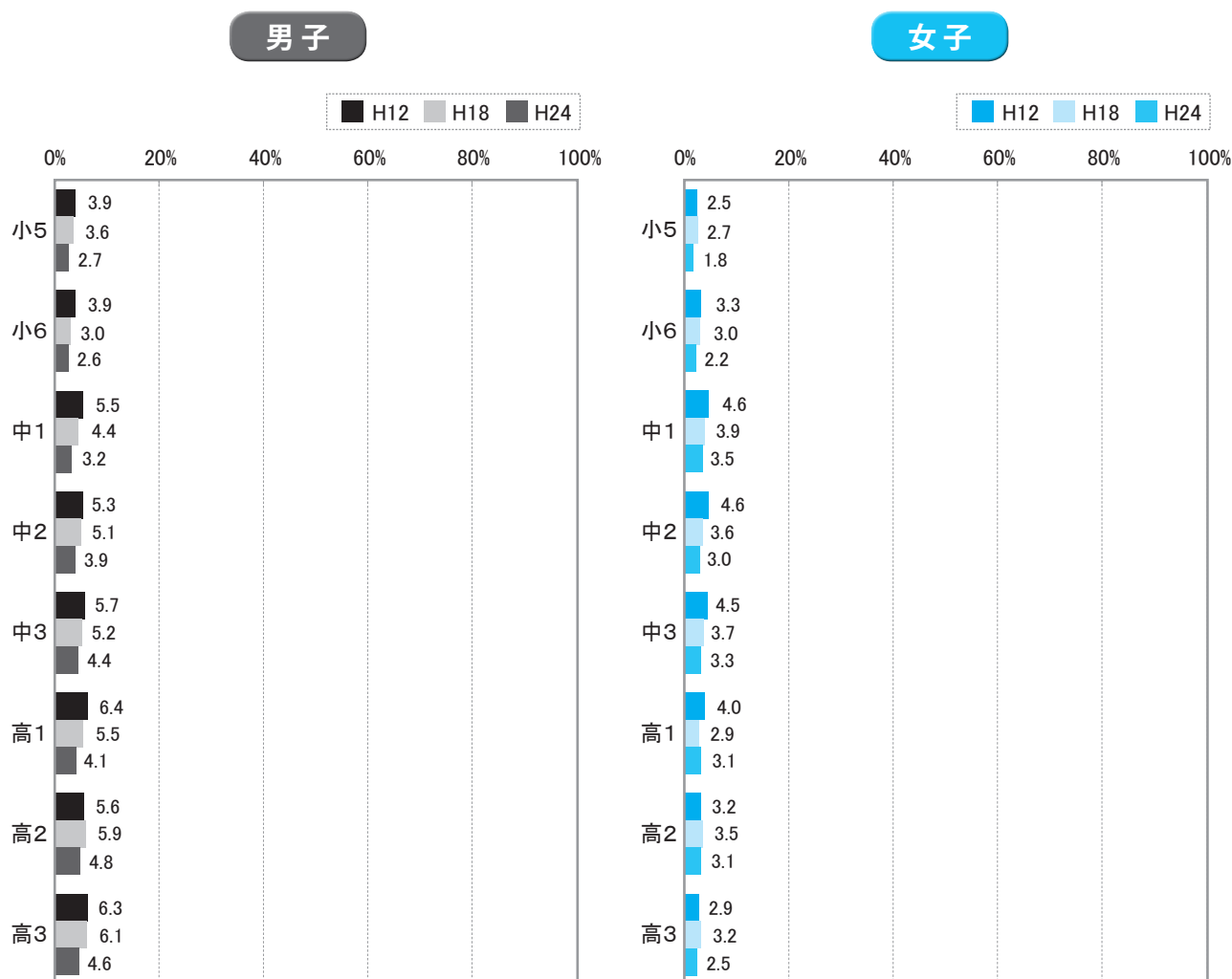
- 酒を飲む人について「かっこいいと思う」、「かっこわるいと思う」と回答した児童生徒の割合と比較して、「どちらとも思わない」と回答した児童生徒の割合は、男女ともにいずれの学校種・学年においても最も高かった。また、その割合は、学校種・学年が上がるにつれて高くなり、女子では中学校2年生以上、男子では高等学校1年生以上で90%を超えていた。
- 「かっこいいと思う」と回答した児童生徒の割合は、男女ともに低かったが、男子では学校種・学年が上がるにつれてわずかではあるが高くなった。
- 「かっこわるいと思う」と回答した児童生徒の割合は、男女ともに小学校5年生では15%を超えていたが、学校種・学年が上がるにつれて低下し、高等学校1年生以降は5%を下回った。

図Ⅱ-1-(3)-1 酒を飲む人の印象



●酒を飲む人について「かっこいいと思う」と回答した児童生徒の割合は、平成12年の調査以降大きな変化がなく低いままであった。平成18年の調査結果と比較するとわずかであるが、その割合は低下し、いずれの学校種・学年においても男女ともに5%を下回った。

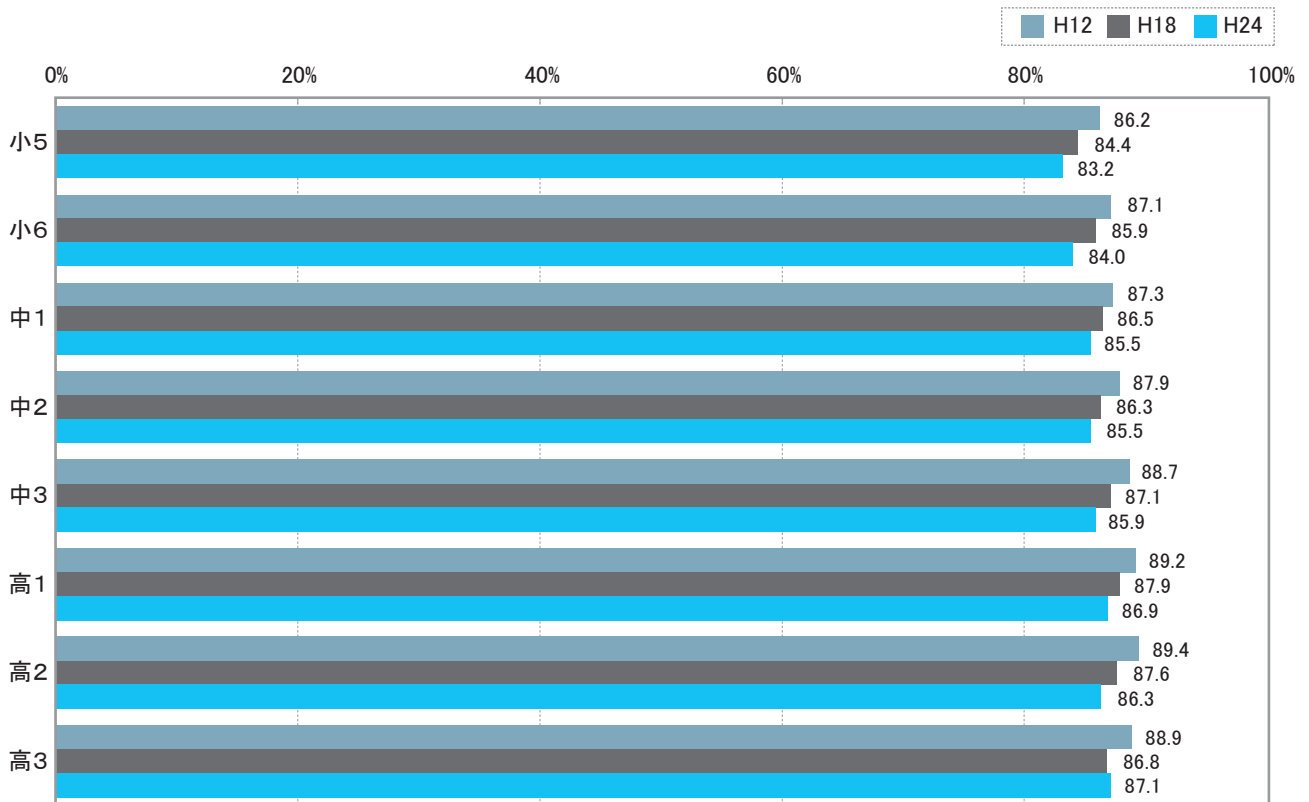
図 II -1-(3)-2 「かっこいいと思う」と回答した児童生徒の割合



（4）家族の飲酒

- 児童生徒の男女別で家族で酒を飲む人の有無の割合に差が認められなかったことから（第2章 p 86 質問4 参照）、下図では男女の別なしの結果を示した。
- 「家族で酒を飲む人がいる」と回答した児童生徒の割合は、すべての学校種・学年において80%を超えていた。
- 「家族で酒を飲む人がいない」及び「わからない」と回答した児童生徒の割合は学校種・学年が上がるにつれてわずかであるが低下し、「家族で酒を飲む人がいる」と回答した児童生徒の割合が高くなった。
- 「家族で酒を飲む人がいる」と回答した児童生徒の割合は、高等学校3年生を除いていずれの学校種・学年においても平成12年、平成18年から平成24年と段階的に低下した。

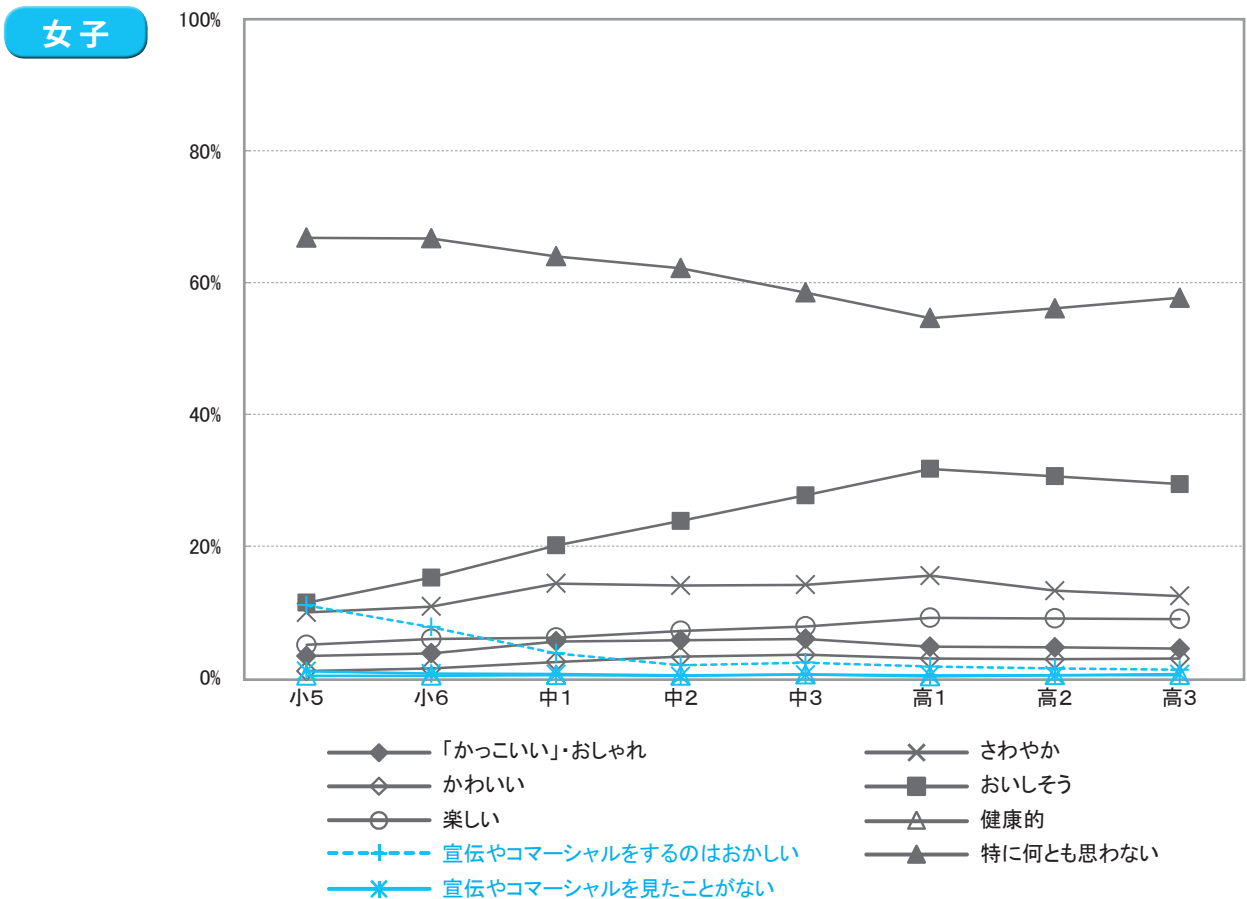
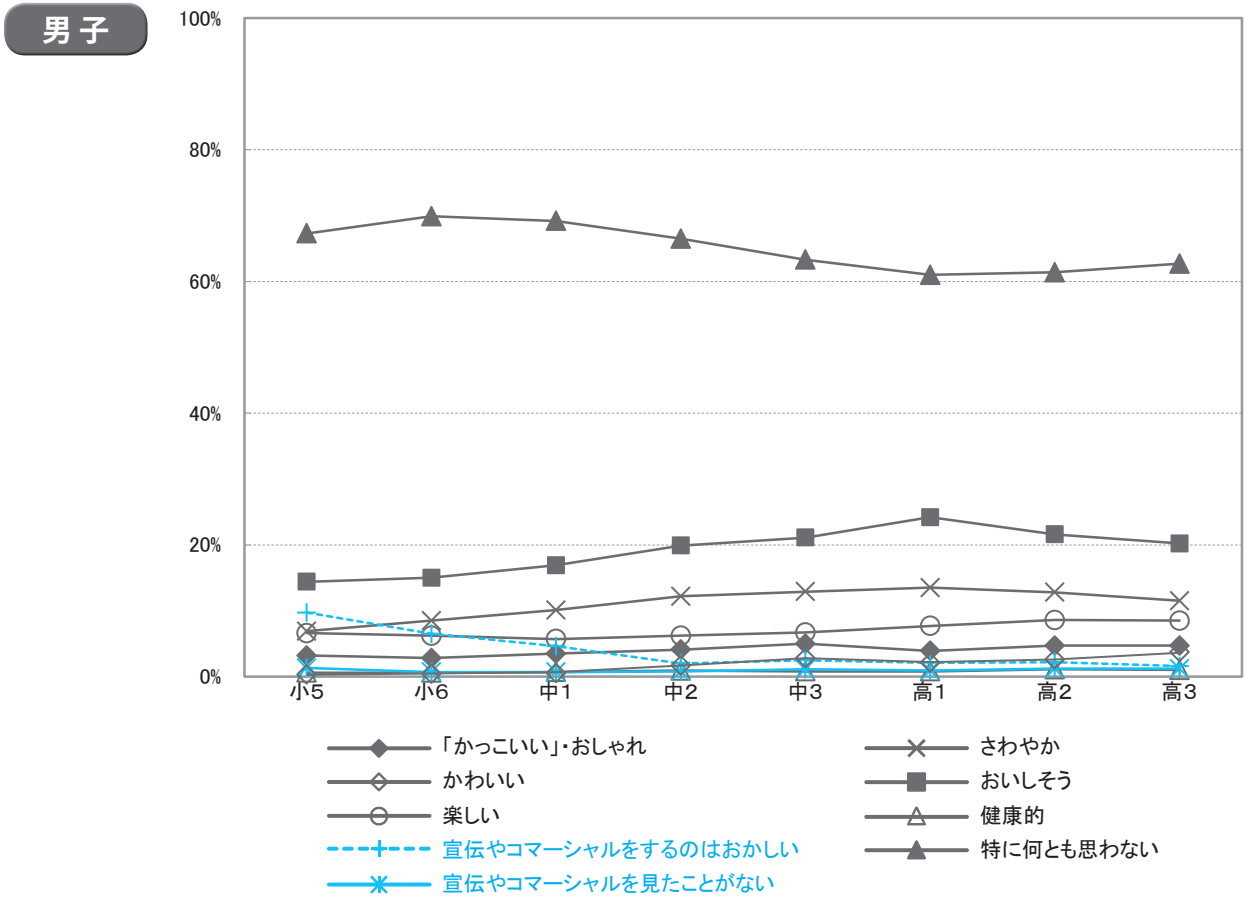
図Ⅱ-1-(4) 「家族で酒を飲む人がいる」と回答した児童生徒の割合



(5) 酒の宣伝やコマーシャルの印象

- 他の回答と比較して酒の宣伝やコマーシャルについて「なんとも思わない」と回答した児童生徒の割合は、いずれの学校種・学年においても男女ともに最も高かった。また、その割合は、小学校から中学校にかけて低下傾向が見られたが、高等学校に入って上昇が認められた。
- 酒の宣伝やコマーシャルに対して肯定的な印象である「『かっこいい』・おしゃれ」、「さわやか」、「かわいい」、「おいしそう」、「楽しい」、「健康的」と思うと回答した児童生徒の割合は、男女ともに学校種・学年が上がるにつれて高くなる傾向が認められた。肯定的な印象の内、「おいしそう」と回答した児童生徒の割合が、男女ともにすべての学校種・学年で最も高く、次いで「さわやか」、「楽しい」の順であった。
- 酒の宣伝やコマーシャルに対して肯定的な印象をもつ児童生徒の割合は、「おいしそう」を除き、男女間に大きな差が認められなかった。一方、「おいしそう」と回答した児童生徒の割合は、小学校5年生では男子の方が女子より高かったが、小学校6年生で女子の方が高くなり、その差は学校種・学年が上がるにつれて広がった。特に、高等学校2年生及び3年生では、男子に比べて女子の方が約9ポイント高かった。
- 酒の宣伝やコマーシャルに対して否定的な印象である「宣伝するのはおかしい」と思うと回答した児童生徒の割合は、男女ともに学校種・学年が上がるにつれて低くなる傾向が認められ、中学校1年生以降5%を下回っていた。
- 酒の宣伝やコマーシャルを「見たことがない」と回答した児童生徒の割合は、男女ともにすべての学校種・学年で極めて少なく2%未満であった。

図 II -1-(5) 酒の宣伝やコマーシャルの印象



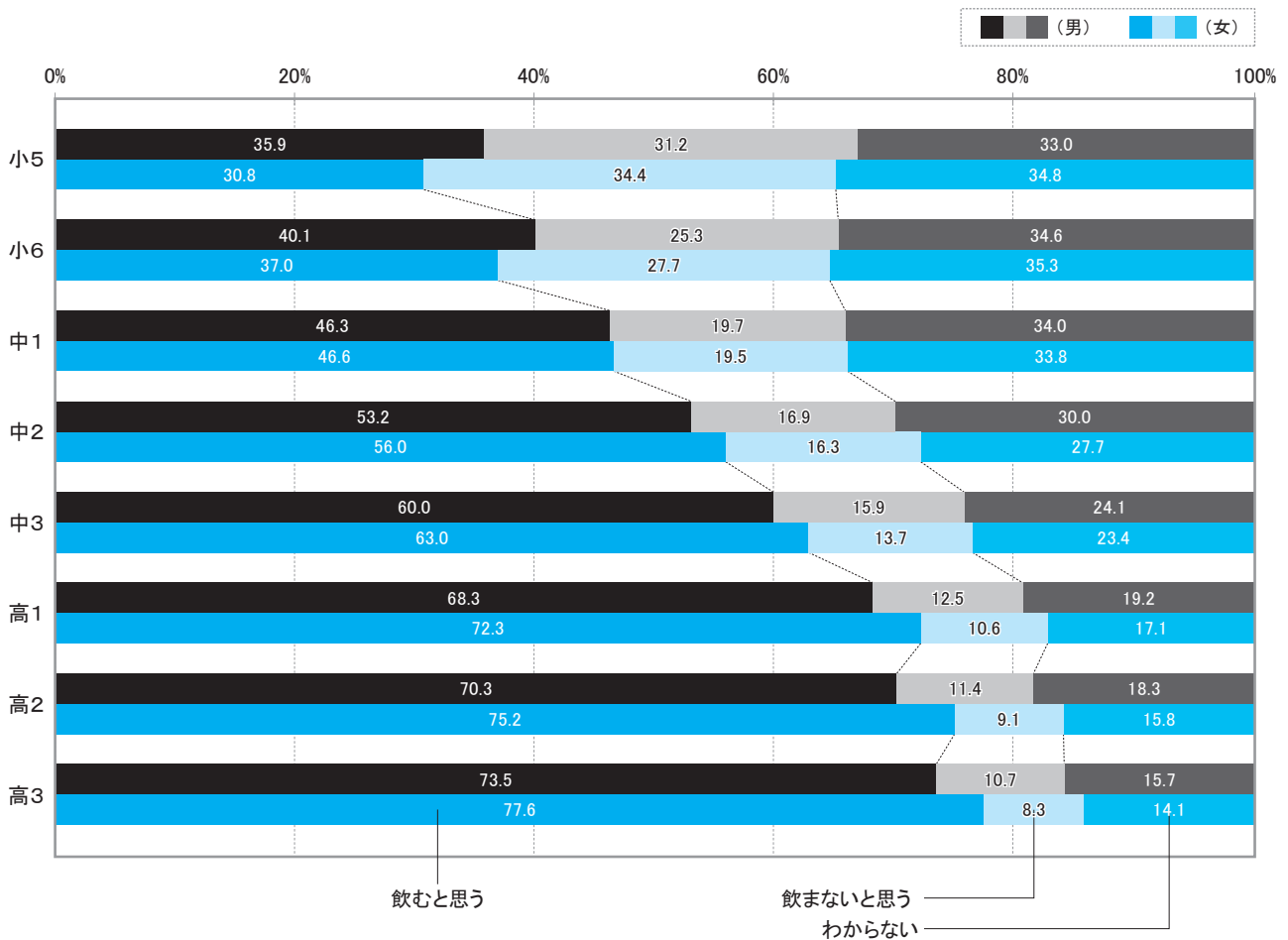
【参考】

- 平成12年及び平成18年に実施した調査では、質問が「酒やたばこの宣伝やコマーシャルをみてあなたはどう思いますか。」であったが、近年、酒とたばこでは、宣伝やコマーシャルを目にする頻度とそれらから受ける印象が大きく異なると考えられることから、今回の調査では、酒とたばこを分けて質問することとした。また、宣伝やコマーシャルの印象に関する選択肢を増やしている。したがって、今回の調査結果と過去の調査において同じ回答であっても単純比較することはできないことから、過去の調査における酒やたばこの宣伝やコマーシャルの印象に関する結果（第2章p 88【参考2】参照）を参考として示す。

（6）将来の飲酒の可能性

- 他の回答と比較して20歳以上になったら酒を「飲むと思う」と回答した児童生徒の割合は、男子ではすべての学校種・学年で、女子では小学校6年生以上で最も高くなっていった。また、その割合は、男女とも学校種・学年が上がるにつれて高くなり、男女ともに中学校2年生以降50%を超えていた。
- 「飲むと思う」と回答した児童生徒の割合は、小学校5年生及び6年生では、男子の方が女子より高かったが、中学校1年生以降は女子の方が男子より高かった。
- 「飲まないと思う」及び「わからない」と回答した児童生徒の割合は、男女とも学校種・学年が上がるにつれて低くなった。

図Ⅱ-1-(6)-1 将来の飲酒の可能性



- 「飲むと思う」と回答した児童生徒の割合は、男女ともに概ねいずれの学校種・学年においても平成12年、平成18年から平成24年と段階的に低下した。

図Ⅱ-1-(6)-2 将来「酒を飲むと思う」と回答した児童生徒の割合

